

# 群会議の話題

第492号

2026年6月8日発行  
大田区西蒲田6-17-4  
東京土建大田支部  
TEL 3731-5527  
FAX 3735-1537  
ホームページ doken-ota.jp  
メール info@doken-ota.jp  
©6月1日組織人員  
現在3,957人

今月のテーマ

## 拡大と脱退防止は組織の両輪

### 7月より組合費千円引き上げます

2カ月間にわたる春の拡大月間が、5月末で終了しました。4月12日の支部拡大出陣式では、全分会から36人の拡大があり、好調なスタートとなりました。その後、中だるみはあったものの、目標達成に向けて諸行動に取り組みました。

その結果、支部目標167人のところ183人加入と5年連続で達成しました。分会目標も4年連続で全分会が達成し、うち6分会が超過達成となりました。これにより6月1日人員は3957人と1月現勢(3946人)回復を成し遂げました。目標達成に向けて尽力いただいた皆さんに、あらためて敬意を表します。

1月人員を回復したとは言えるものの、これで終わりではありません。春の成果をどのように維持していくか、それが今月からの課題です。

まずは拡大行動の継続です。春の拡大で話がまとまらなかった未加入者に、引き続き声がけをしましょう。また新たな未加入者情報の掘り起しも、続けていきましょう。

もう一つは脱退防止です。お亡くなり

になったり転居など、引き止められない

脱退者は一定数います。しかし会社を退職しても、引き続き建設業に従事する場合は、都内居住など条件はあるものの、継続加入できます。また、組合共済や互助制度、火災共済や自動車保険、労災保険など、組合加入だけでも有利な制度を利用できます。もし群の仲間が脱退を考えている方がいたら、こうしたメリットを説明して、再検討してもらって下さい。脱退防止をしなければ、拡大の成果も半減してしまいます。拡大と脱退防止を両輪に、組織の維持・増勢を進めましょう。

\* \* \*

さて、先月の群会議の話題でもご案内しましたが、組合費を7月納入分(8月分組合費)から千円引き上げます。組織人員の減少(収入減)と、諸経費の高騰(支出増)により、単年度赤字が続いており、苦渋の決断ではありますが、支部大会で引上げを承認いただきました。今後も組合の諸活動を停滞させることなく、効果的な経費削減に努めていきますので、ご理解をお願いします。

## どけんカレンダー

(2026年6月7日~7月18日)

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
住宅デー①	6月				分会執行委員会	
14	15	16	17	18	19	20
住宅デー②		群会議			分会集約会議	
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	7月	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
	分会執行委員会				群会議	
18						

### ◆当面の予定◆

★法律相談(要予約・無料)  
日時 6月24日(水)午後2時  
7月9日(木)午前10時  
離婚・相続、顧客・社員トラブル、交通事故、不動産問題など弁護士が対応します。

★税務相談(要予約・無料)  
日時 6月24日(水)午前10時  
個人/法人独立、所得税/消費税/法人税、インボイス、節税、税務署対策など税理士が対応します。

★建築士相談会(随時受付)  
工事全般について、確認申請、耐震化、意匠・構造設計、区制度など、建築士が対応します。

※それぞれの相談予約は支部へ ☎ 3731-5527

※分会・群の会議は分会ごとに設定しています。日にちは最寄りの分会役員に確認してください。

白抜きの日は業務休止

# ハガキ要請行動で声を届けよう

## 土建国保を守ることが組合の力になる

今年度もハガキ要請行動の時期がやってきました。土建国保は、加入者の皆さんの保険料と国・東京都などからの補助金によって運営されています。26年度予算では、補助金が全体の約40%を占めており、補助金が削減されれば保険料の大幅な引き上げにつながる可能性があります。また、土建国保は公営国保と比べて法的な位置付け

が弱く、補助金を維持・確保するために毎年継続して要請の声を届けることが欠かせません。ハガキ要請行動は、国保組合設立当初から50年以上続く東京土建の伝統ある運動です。仲間一人ひとり、そして家族一人ひとりが参加できる「全員参加の運動」として受け継がれてきました。皆さんが記入したハガキは要請先の担当者に届

けられ、補助金確保に向けた大きな後押しとなっています。

社会保障制度全般を守ることが、

国保組合を守ることにつながります。そして、土建国保を守り発展

させることは、組合そのものの組織

拡大にもつながります。組織が

大きくなれば、どけん共済をはじめ

めとした組合員制度のさらなる充

実も期待できます。第一弾は厚生

労働省への要請です。土建国保加

入者の皆さんはもちろん、組合の

み加入されている方も、この運動

の趣旨を理解し、今月の群会議で

の記入・提出にご協力をお願いします。

◎記入上の注意点

要請ハガキを記入する際は、左

記の点に注意して下さい。

①職種を具体的に記入する

東京土建は、建設産業で働く仲

間で組織している組合です。職種

## 7月納入分より 組合費を改定します

4月に開催した支部定期大会の決定を受け、7月より組合費を下記のとおり改定いたします。

物価高の情勢の中、皆様にはご負担をお掛けし心苦しい中ですが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

### ■改定内容

組合費 1,000円引き上げ

### ■改定時期

26年7月群会議納入より

は誰が見ても「建設業」とわかる

ように、具体的な表現で記入して

下さい。例えば、事務員という記

入ですと、何の業種なのか不明で

す。建設会社の事務員など具体的

な表現で記入をお願いします。組

合員の家族の方が記入する場合は、

「私の夫は・・・」「私の息子は・・・」

の書き出しで記入して下さい。

②自分の住所・氏名を記入する

住所・氏名の修正や書き換えは

認められないので注意して下さい。

③鉛筆やフリクションボールペン

では記入しないで下さい。

◎東京都・暑さに考慮した

職場環境づくり奨励金◎

東京都が「暑さに配慮した職場

環境づくり奨励金」を実施します。

これは熱中症予防対策に取り組み

都内小規模企業を支援するもので

す。熱中症予防対策のための物品

購入等が対象となります。詳しく

は特設サイトをご覧ください。



特設サイト

◎東京建築カレッジ

オープンキャンパス◎

後継者の育成と技術の向上を目

的として設立された東京建築カレ

ジは、高い技能を身に着けること

ができる学校で、これまで多くの

技能者を育てあげています。27年

4月入学者向けの授業を一日体験

できるオープンキャンパスを26年

6月～27年1月までの毎週土曜日

に開催します。

【会場】東京建築カレッジ

江東実習場

【時間】13時～16時

【参加費】 無料

申込は東京建築カレッジホーム

ページの申込フォームより。

◎厚生年金算定のお知らせ◎

今年も、厚生年金の算定の時期

となりました。対象事業所には、

今月初めにかけて案内書類を郵送

しています。年金事務所から郵送

される書類と合わせて確認をして

下さい。厚生年金の算定手続きを

行わない場合、来年度の土建国保

の資格確認証（または資格情報

お知らせ）が発行されないため、

必ず手続きをお願いします。